



短期大学部
保育科第一部 / 保育科第三部

▶造形A、造形B

造形的な表現活動は、想像力と創造性に深く関与した子どもの全体的な発達を支える大切なものです。保育者が楽しんで表現活動に取り組む姿は、子どもの「やってみたい!」という思いを増幅させます。授業では様々な表現技法を通して、それぞれの活動の過程で湧きおこる感情や感覚など、作品を作り出す取り組みそのものに価値があることを体験的に学んでいます。学生たちは表現することを楽しみながら“子ども心”を目覚めさせています!



共通教育機構

▶身のまわりの科学

私たちの身のまわりの現象、特に意識的に利用している現象の背景には様々な科学知識が隠されています。「身のまわりの科学」ではこうした現象の中でも興味関心を持ちやすいと思われるものをいくつか取り上げています。それらの現象を、全員で計算する、作ってみる、観察する、といったことを通して、「!(感嘆)」や「?(疑問)」から出発して科学的に考えるきっかけを身につけられるような授業を試みています。



第54回兵庫大学大学祭
聚萌祭
(しゅうほうさい)

日時:
11月10日(土)・11日(日)
(雨天決行)
テーマ:
百折不撓(ひゃくせつふとう)
内容:
模擬店、展示、ゲストライブ等
(詳細はご期待!!)

これまでにない大学祭を

兵庫大学にて毎年開催されている大学祭「聚萌祭」は、今年で54回目を迎えることとなりました。今年の聚萌祭のテーマは「百折不撓(ひゃくせつふとう)」を採用し、幾度失敗しても志を曲げない強い意志をもって大学祭当日へ臨みたいと思っています。百折不撓というテーマにはとても大事な意味が込められております。実は、昨年度の段階で兵庫大学大学祭実行委員会は人員不足による継続難を抱えていました。しかし、今年度から新入生を中心にたくさんの入部者が集まったことで今年の大学祭を無事に開催することができるようになりました。まさに百折不撓、起死回生の年という訳です。新入生が多く入部したことで、今までの大学祭になかった視点で大学祭というコンテンツを盛り上げることができると思っています。常に変わり続ける今の社会から、最先端の情報を取り入れられる若い世代を中心に活動してもらうことで、これまでの大学祭に新しい風を吹かせてくれることと思っています。兵庫大学大学祭実行委員会一同、自信を持って大学祭を皆様にお届けできるよう全身全霊頑張りますので、「聚萌祭」にぜひお越しください。
大学祭実行委員 社会福祉学科3年生 肥田 潤さん(神港学園高等学校出身)

編集後記

vol.4では、どの授業も理論と実践を融合させた魅力溢れる授業ばかりでした。大学祭実行委員にもインタビューを行い、年に一度の大学祭に向けての取り組みについて、お話を聞きました。次回は実習やインターンシップなど「地域での学び」が中心です。最後になりましたが、ご協力頂きました先生方に心より感謝申し上げます。

広報委員会ニュースレター作成チーム
(李 良姫・瀬川 明・田中 育江)

Hyodai Learning

september 2018

vol.04

HYOGO University



サークル活動
(わくわくさんのポケット、サプライズ企画部)



加古川でらこや
「Let's 修行体験 in 鶴林寺」

ありがとうの プロフェッショナルへ。

「ありがとう」に
あふれる人生を送ってほしい、
それが私たちの願いです。

あらゆることに感謝の念を抱きながら、
仕事をさせていただくこと。
他者にこころを寄せ、
おたがいに認め合い大切にしようこと。
そして、他者とおたがいに譲りあい、助けあうこと。
すると、やがてあなた自身が
「ありがとう」という感謝の言葉を
いただくことができる専門家となります。
それこそが、私たちが目標とする
“ありがとうのプロフェッショナル”なのです。
私たちはあなたの一生を支える力を育みます。
生きる力に変わる学びを、あなたに。



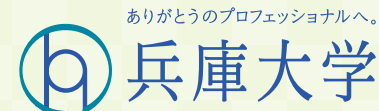
稲美町で採れた野菜やフルーツでお菓子作り



地元企業の会社案内作成



ASハリマアルビオン
「夏休みスポーツアカデミー」



http://www.hyogo-dai.ac.jp

兵庫大学



公式サイト



受験生応援サイト



Twitter

〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301 ▶お問い合わせ TEL:079-427-9551(学長室・広報委員会) E-mail:info@hyogo-dai.ac.jp

Theme 魅力ある授業

上記のタグライン「ありがとうのプロフェッショナルへ。」は、私たち兵庫大学の教育に込めた思いを表現したものです。建学の精神の「和」を大切に、感謝、寛容、互譲の心と高度な技術を併せもった人材の育成を学内外の多くの方々にお約束する内容を表明しています。

**現代ビジネス学部
現代ビジネス学科**

▶ **現代ビジネスの実際**

この授業では、外部から様々な職業の方をお迎えして話を聴きます。講師は、ビジネス分野(流通・小売業、アパレル業、商社等)、専門職(公認会計士、社会保険労務士)、公務員(加古市役所や高砂市役所)の方々です。講師からは仕事で苦労したことや面白いエピソードなど普段は聞けないリアルな体験も聞け、授業を受けた学生は「イメージと違った」「進路として考えたい」など、新たな視点を持つことができます。



**看護学部
看護学科**

▶ **看護師国家試験対策補習講座**

次年度卒業予定者を対象に4月から翌年2月まで国家試験対策講義を実施しています。補習講座は毎週6時間の講義形式で実施していますが、併せて成績に伸び悩む学生対象に特別補習を毎週2時間開講して成績の底上げを目標にバックアップします。補習講義の受講で看護の知識が深まると、模擬試験の成績が向上して学生に自信がってきます。個別質問に丁寧に対応しながら看護教員と学生が一体となって国家試験全員の合格を目指します。



**健康科学部
栄養マネジメント学科**
(管理栄養士養成施設)

▶ **食品学実験I**

栄養マネジメント学科の学生達が大学で初めて出会う実験科目が本科目です。殆どの学生が人生で初めての「実験」となる場合が多く、使用する器具の名前や特徴のちょっとした違いに戸惑い、おっかなびっくりといった風にスタートを切ります。授業が進むにつれて慣れてくると、白衣を着て実験する姿もさまになってきて、どこか誇らしげな様子が見られます。学生達はこの授業を通して、様々な食品成分の分析に取り組みます。

**生涯福祉学部
社会福祉学科**

▶ **相談援助演習IB**

「相談援助演習IB」は、いよいよ夏期の社会福祉士実習に向けて、知識と技能を統合する授業です。特に「面接」の演習(ロールプレイング)では、実際の事例をもとに、実践家教員が患者役となって、本番さながらの「面接」を行います。そして、コミュニケーションラボ(ビデオ録画を使った演習システム)を使用したデブリーフィング(演習後の振り返り)を行います。「緊張するし、疲れるけど、勉強になる、おもしろい」と学生。「本気の社会福祉」の授業です。



**健康科学部
健康システム学科**

▶ **救急処置**

健康システム学科3年次に開講する「救急処置」は、養護教諭や保健体育教員、健康スポーツ指導者にとって必要不可欠な科目です。将来、教育や指導の場面で関わる人たちの命を守るために、高いレベルでの心肺蘇生法とAEDの技術習得を目指します。また、前腕部の骨折、足首の捻挫、熱中症、アナフィラキシーショックなど、遭遇する可能性の高い救急処置事例のロールプレイングを実施し、理論と実践力を身につけます。知識と技術の習得は自信となり、人を助ける場面で行動に移す「勇気」となります。



**生涯福祉学部
こども福祉学科**

▶ **保育内容総論**

こども福祉学科の「保育内容総論」では、保育者を目指す学生が、保育実践の基盤となる知識や技能、保育実践力を身につけることを目指します。この日は「保育における『環境』について考える」をテーマに、教室を出て泥だんごを作りました。最初は「手が汚れるから…」と言っていた学生も、互いに手触りや固さを比べて試行錯誤を重ねるうち「つつるようになってきた!」と感激の声を。授業が終わる頃には全員の泥だんごができました。

